



2019年
信徒総会号
WEB版

発行所
カトリック高幡教会
あゆみ編集委員会
TEL042(592)2463
FAX042(592)2464

聖なる沈黙

主任司祭 ロールド・ザビエル

沈黙を言葉で説明するのは少し逆説的なことだと思いませんか。コミュニケーションを取るために言葉を理解することは何よりも大切だということには皆認識していると思います。しかし、理解した言葉を実行するためには沈黙が非常に必要だと思えます。

教皇ベネディクト十六世が二〇一二年の世界報道の日のメッセージに沈黙の大切さについて説明されました。

「沈黙はコミュニケーションに欠かせない要素です。沈黙がなければ、豊かで内容を伴うことは存在しませんが。沈黙のうちには、わたしたちはよりいっそう自らに耳を傾け、自分

自身のことを理解できます。考えがひらめき、深まります。

また、自分が何をいいたいのか、他者に何を求めているのかをより明確に認識し、どのように自分自身を表現するかを選びます。

わたしたちは沈黙することにより、相手に自分のことを話したり表現したりする機会を与えることができます。また、よく考えずに自分のことばや観念のみにとらわれることも避けられます。こうして、互いに耳を傾ける余地が生まれ、人間関係を深めることができます。

沈黙に感性和傾聴力が伴うとき、さらに積極的なコミュニケーションが生まれ、かわり合いの真の基準と本質がしばしば明らかにされます。メッセージや情報が氾濫する中、あまり意味のない二次的なものから大切なものを識別する場合には、沈黙は不可欠です。

考察を深めることは、一見、無関係と思える出来事の間につながりを見いだし、評価し、意味を分析する助けとなります。こうして、考え抜かれた適切な意見が交換されるよう



沈黙の男 聖ヨセフ

になり、真正な知識の共有が実現するのです。それには、沈黙、ことば、映像、音声の間の均衡が正しく保たれた適切な環境、ある種の「生態系」を幅広く必要があります」

教会では神とのコミュニケーションを典礼を祝うことによって実現しています。ですから、神の言葉を聴くことを行為を行うだけでは足りないことと考え、聖なる典礼の中にも沈黙の役割が大切に配慮されています。

沈黙については新しい「ローマ・ミサ典礼書の総則」に次のような項目が記されています。

沈黙は、祭儀への行動的参加の一つ。祭儀中の沈黙には、それぞれの意味や目的がある。ミサ中だけでなく、ミサ前、ミサ後の沈黙が守られるように配慮する。

（祭儀の部分）

- 一、回心への招きの後↑自己に心を向ける
- 二、各公式祈願の招きの後↑自己に心を向ける
- 三、朗読（説教）の後↑聞いたことを短い黙想
- 四、聖体拝領の後↑神を賛美して祈る

（場所）

- 一、聖堂・香部屋・準備室
- 二、上記に隣接する場所

典礼の時の沈黙は空虚ではありません。沈黙を守っていけば、心の中に響いている神のみ言葉が聞こえますし、更に、神の沈黙も理解できると思えます。その態度を私たち一人一人の中で育てていきましょう。✠



2019年

信徒総会報告

二〇一九年度の信徒総会が一月二十七日の九時ミサの後に開催されました。

最初に高幡教会主任司祭のロールド・ザビエル神父様より挨拶があり、委員の皆さんへの感謝の言葉に続き、以下の三つを話されました。

①エレベーター献金については二〇一八年度の返済状況はとも順調で皆さんに感謝しています。引き続きよろしくお願いいたします。

②教会の高齢化により、若い世代の方に自分の仕事をバトンタッチすることが大切になってきました。主任司祭など聖職者も七十五歳定年となりましたが、是非皆様も次の世代にバトンタッチすることを考えて頂き、そして祈りの中で進めて行きましょう。

③二〇一九年度はミラノ外国宣教会の総会のため、二回に渡り、ローマに行くことになり、この期間は不在となり、十時からのミサ一回になります。このことはチャレンジですが、主日のミサの参列者の人数を考えると、不在期間の後も十時のミサ一回にすることも皆様と一緒に考え検討していきたいと思えます。

続いて、副委員長より、日野市の教会周辺の開発計画についての説明があり

ました。

その後、議事次第により、信徒総会の議長、書記が選出されました。

「議題一から六まで二〇一八年度の委員で進行していくこととなります。議題七は新委員長にお任せすることになります」と議長からの説明、また、本日の出席者は、六十七名との発言があり、議事に入りました。

（一）二〇一八年度活動報告

最初に、委員長から以下のような一年を振り返った概括的な説明がありました。

一、二〇一八年九月より五名のメンバーで創立五十周年プロジェクトチームが発足し活動をはじめました。

二、長期修繕計画に関して、財務委員会で長期計画が作成され信徒委員会に提出されました。一〇〇六年の建物調査診断報告書も含め委員会で検討し二〇一九年度の予算化を行いました。

三、十一月より、信徒委員会、創立五十周年プロジェクトチームと財務委員会の議事録を1階の掲示板に掲示しました。

四、十一月の拡大委員会でミサでの聖書朗読の件で「当番信者」が話題となりましたが、神父様からの私たちへの激励と受け取り、二〇一九年度は、地区会活動を中心に前向きに進んでもらいたいとの発言がありました。

その後、総会資料の順序に従い、七の

委員会活動報告、二十のグループ活動報告、六の地区会の活動報告がなされました。

その中の、二つについて、記します。創立五十周年プロジェクトチームについて以下の説明がありました。

ザビエル神父様より五名が任命され、委員会の下部組織として九月九日よりスタートしました。

二〇一九年の復活祭から二〇二〇年のさつき祭まで三ヶ月に一回くらいのイベントを考えています、六月二十三日の堅信式には森司教様をお呼びしています。秋祭りにはコンサート、二〇二〇年のさつき祭には菊地大司教様主司式の記念ミサ、記念誌発行やパーティを検討しています。

当プロジェクトチームは発案と推進が中心にならざるを得ず、皆様のご協力



信徒総会の様子

を頂けるようお願いしております。

また、ボーイスカウト、ガールスカウトについては以下の説明がありました。

一九七〇年に発足し、五十年になりました。発足に尽力して頂いたロワゼール神父様が今年のさつき祭に来られた時、裏山でキャンプファイアーなどを計画したいと思っています。今年は山中湖でのキャンプを計画中です。若い人が多いので教会の力仕事をお手伝いいたします。

その後、議長から採決について「問題が無い限り拍手で承認する方式にした」との説明がありました。

(二) 二〇一八年度決算報告

会計委員から次のように決算報告がありました。

〈一般会計〉

- ・収入の部：今年度の月定献金、ミサ献金、祭儀献金は順調でありました。
- ・支出の部：教会の行事については、皆様の節約もあり感謝しています。
- ・修正予算承認について

維持管理費では保守管理費がエレベーター保守点検費用を当初予算で計上していなかったため、修正予算が必要となりました。このため、維持管理費は、変更せず、その内訳を修正予算として小規模修繕費、保守管理費、園芸費予算を修正し承認してください。

〈特別会計〉

- ・収入の部：エレベーター献金は予算に対し三倍弱の収入となり感謝していま

す。

- ・支出の部：大規模修繕費では聖堂天井の改修が二〇二〇年に延期となったため未実施となっております。

委員長より、「聖堂天井の改修と照明が暗いという問題への対応は、長期修繕計画に基づいて、二〇二〇年実施を予定しています」との補足説明がありました。

その後、会計監査人から監査報告があり、監査の結果、問題点は無かったと報告されました。

質疑応答の後に(一)(二)に対して、出席者拍手多数で承認されました。

(三) 二〇一九年度予算

会計委員から次年度の予算について説明がありました。

その後、委員長より補足説明がありました。

- ・保守管理費について

聖堂周辺の樹木について、木が傾斜し、根本がむき出しとなり倒木などの危険性が増しています。このため専門家の樹木医に傾斜樹木診断をして確認すると共に、必要により伐採等の処理をする予算を計上しました。

・支払い手数料にエレベーター増築工事に伴う登記費用を計上しました。教区本部と連絡を取りながら小教区が支払うこととなつております。

質疑応答の後に(三)に対して、出席者

拍手多数で承認されました。

(四) 信徒会規約改定

委員長から「カトリック高幡教会信徒会規約(改定案)」について、「財務委員会を明確に位置づけるために、規約に財務委員会に関する第八条を入れたのが今回の主な変更となっております」との説明がありました。

説明の後、質疑応答がありました。財務委員から以下の説明がありました。「財務委員会の規約を別に作るか信徒会規約の中につくるかですが、財務委員会の立場の明確化ということが今回の提案になりました。今後、問題があれば変えていけば良いと判断しています」

その後、神父様から補足説明がありました。「二〇一七年より財務委員会を作りました。財務は社会との接点の問題でもあり重要な意味があります。財務委員会は決定して実行する組織ではなく、あくまで司祭に提案する組織です」

質疑応答の後に(四)に対して、出席者拍手多数で承認されました。

(五) 二〇一九年度信徒委員会の改選

委員長により新組織図の説明がありました。

「昨年との組織の相違点は、エレベーター委員会が無くなり、創立五十周年プロ

ジェクトチームが追加されたことです。ボーイスカウトとガールスカウトがその他のグループの中に一昨年までのように戻しました」

新委員会のメンバーの紹介の後、質疑応答がありました。

質疑応答の後に(五)に対して、出席者拍手多数で承認されました。

(六) 二〇一九年度信徒委員会活動方針

新委員長が不在のため、新副委員長から新年度の活動方針の説明がありました。

その後、(六)に対して、出席者拍手多数で承認されました。

最後にS.R.清水様により、「イエスのミッションは私たちのミッション」というお言葉があり、全員でお祈りし総会は無事閉会しました。

新委員長の挨拶

教会が心の安息、暖かい
ぬくもりのある祈りの
場となりますように

二〇一九年度信徒委員会委員をつとめ

させて頂いたできます。なにとぞよろしくお願いたします。

私の高幡教会とのかかわりは、故小川俊明さんとの関係があります。一九六九年(昭和四十四年)に創立された時からの信者で、教会の基礎やさまざまな歴史をつくってこられました。小川さんは私と同じ長崎出身で、親戚です。

妻との結婚に際しては、ロワゼール神父様とシスター井上静江様のご指導をいただき、妻が受洗することができました。感謝しています。一九八〇年生まれの長男が乳児の頃はまだ、メルセス会修道院の聖堂でのミサで、子どもがうるさい中でも信徒の皆様のあたたかいお気持ちでミサに与ることができました。ありがたかったです。少し想い出にひたつてしまいました。

さて、これまで教会のことにあまり関わることができなかったのですが、今年はいろいろと勉強しながら活動し、霊的にも少し成長したいとの思いでいます。

神様の教えである「隣人を愛せよ」を肝に銘じ、教会が私たち信徒の心の安息、暖かいぬくもりのある祈りの場となりますよう、ザビエル神父様、シスター清水靖子様のご指導をいただき、委員のみなさま方と協力し、つとめたいと思います。

また、来年二〇二〇年の「高幡教会創立五十周年記念」に向け、創立五十周年プロジェクトチームとともに力を合わせ、万全の準備を進めたいと思います。

信徒のみな様のご支援、ご協力をお願いいたします。



姉妹教会交流会礼拝の様子



「インドネシアについて」のお話の時間

姉妹教会交流会礼拝・交流会

エキユメニカルへの確かな歩み

エキユメニカルグループ

今年の交流会礼拝は小枝牧師様の「信仰と公正と正義」についての説教で頂上に達し、続く交流会では始めに故石川牧師様を偲んで歌と祈りが捧げられた。

今回の姉妹教会交流会礼拝・交流会は例年とはその趣を異にしていた。

一つには、教会の皆さんの協力が多かったこと。午後の行事に参加していただくためにアカシア会のメンバーがカレーを作り昼食にと提供して下さいました。また交流会では「時節柄、暖かいものを」

と有志の方々が白玉入りのお汁粉を提供して下さいました。「交流会で使った」とお菓子の差し入れも受けた。信徒会委員には受付、誘導、献金籠、カード回収と配付など各担当を受け持っていたいただき、高幡教会の全員で全体の活動を展開した。

もう一つは、ザビエル神父様が日頃からお話されている「エキユメニカル」の色が濃く現れた点。ミラノ外国宣教会の日本管区長から「単に三つの教会の親交に留まらず、エキユメニカルの観点からは非常に重要で意義深い活動だ」と励まされたそうだ。

そのエキユメニカルの趣旨は、A氏の「インドネシアについて」のお話によって分かり易く提示された。多民族、多言語、多宗教のインドネシアでは、憲法前文にも明記されているパンチャシラと言う建国五原則が、幼児教育に組み込まれ、家庭や地域でも「違いを超えて仲良くしなさい。尊敬し合いなさい」と徹底して教え込まれるようだ。カトリックとプロテスタントの一致に留まらず、イスラム教やヒンズー教、仏教等の信者がビンネカ・トゥンガール・イカ（多様性の中の統一）を実践しているお手本がインドネシアに見られる。参加者からの質問に答える形でA氏が話された「テロ被害に遭って瀕死の状態の女性が神に祈り、犯人を赦した実例」は参加者の心を打った。

最後にザビエル神父様の「福音の喜びを多くの人々に伝えましょう」との力強いお祈りで交流会は締められた。

成人式のお祝い

一月十四日の十一時ミサの中で成人式を迎えた青年たちがザビエル神父様から祝福を受けました。

ミサ後にはお祝いパーティーがあり、和やかな時間を過ごしました。新成人に神様の導きが注がれますように。おめでとうございます。



ザビエル神父様から祝福を受ける

★ルルドの記念ミサ(2月11日)



◆高幡教会のミサ時間◆

日曜日=午前9時・11時

平日=火曜日 17:30

金曜日 10:00

初土=月の初めの土曜日 11:00

メルセス=火曜日、木曜日 7:00

◆ザビエル神父様ご指導の講座◆

★聖書を読む会★

毎週金曜日ミサ後

★カトリック入門講座★

土曜日=17:30~18:30

※他の曜日等の希望がある場合は
神父様と個別に相談して下さい

○スケジュール変更が多々ありますので
ホームページ等でご確認ください。

◆高幡教会ホームページのURL◆

<http://www.cctakahata.jp/>

◆スマホからのQRコード読み取りはこちら◆



★おめでとうございます

《洗礼》1月13日



★教会行事(2月24日~4月21日)

- ・2月24日 年間第7主日
堅信講座(12:00~13:00)
- ・3月3日 年間第8主日
信徒委員会9時ミサ後
堅信講座(12:00~13:00)
- ・3月6日 灰の水曜日 ミサ(10:00)(大斎小斎)
- ・3月10日 四旬節第1主日(10:00ミサ一回)
ミサ後 拡大委員会
- ・3月17日 四旬節第2主日(10:00ミサ一回)
- ・3月24日 四旬節第3主日
黙想会・ゆるしの秘跡(9:00ミサ一回)
- ・3月31日 四旬節第4主日(10:00ミサ一回)
- ・4月7日 四旬節第5主日
堅信講座(12:00~13:00)
- ・4月14日 受難の主日
枝の主日(10:00ミサ一回)
ミサ後 信徒委員会
- ・4月18日 聖木曜日(主の晩餐)
聖木曜日ミサ(19:00)
- ・4月19日 聖金曜日(主の受難)
聖金曜日(19:00)(大斎・小斎)
- ・4月20日 聖土曜日(復活徹夜祭)
復活徹夜祭ミサ(19:00)
- ・4月21日 復活の主日
復活祭(10:00ミサ1回)ミサ後祝賀会

<編集後記>

・新委員会が立ち上がり一年間、信徒委員会を運営してくれることになりました。新委員会の皆様にはお元気で活動されますように。旧委員の方々お疲れ様でした。

・高幡教会のホームページが毎週更新され私たちに有益な情報を提供していることをご存知でしょうか。パソコン、スマホのどちらからでも見られます。左のURL、QRコードを参考にアクセスしてみてください。